



広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

■ 広島高速道路公社の概要

広島高速道路ネットワーク



事業主体と有料道路の種類

広島高速道路公社・広島高速道路の位置づけ

事業主体	有料道路の種類
東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 西日本高速道路株式会社	高速自動車国道 一般有料道路(一般国道、都道府県道、指定市道)
首都高速道路株式会社 阪神高速道路株式会社 指定都市高速道路公社 (広島、名古屋、福岡北九州)	都市高速道路
本州四国連絡高速道路株式会社	本州四国連絡道路(一般国道)
地方道路公社	一般有料道路(一般国道、都道府県道、市町村道)
地方公共団体	一般有料道路(都道府県道、市町村道)

設立団体及び国との関係

- 地方道路公社法の定めにより、運営上重要な事項については、**広島県・広島市及び国の承認等**を受け事業を遂行

■ 広島高速道路債券について

広島高速道路債券にかかる債務保証

根拠法令

広島高速道路債券は、地方道路公社法第28条の規定に基づく債務保証付き債券です。

債務保証団体及び割合

広島県・広島市それぞれが「発行額の1/2の額と利息相当額」を債務保証します。

債務保証内容

元金と利息相当額について、当社が弁済不能になった場合は、公社に代わり弁済の責務を負うものです。

広島高速道路債券はBISリスク・ウェイト0%

BISリスク・ウェイト

広島高速道路債券は、地方道路公社法第28条の規定に基づく債務保証付き債券であり、BIS規制上のリスク・ウェイトは地方債と同様の0%となります。

根拠法	地方道路公社法(第28条)
保証	設立団体は、法人に対する政府の財政援助の制限に関する法律第3条の規定にかかわらず、道路公社の債務について保証契約をすることができる

令和2年度広島高速道路債券(市場公募債)の概要

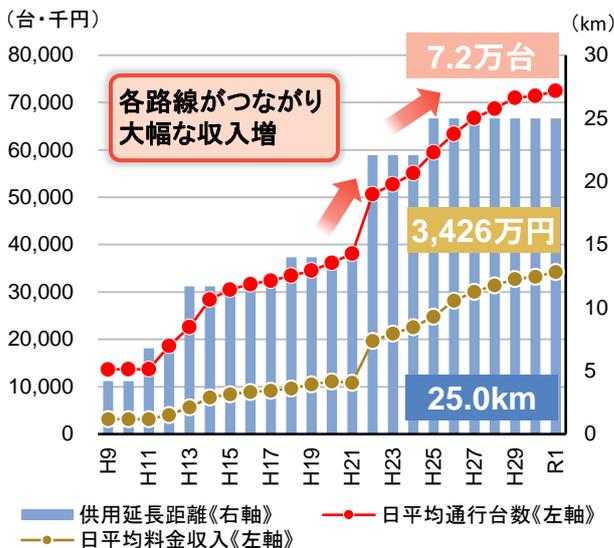
発行予定額	230億円(予定)
年限	10年債:90億円、15年債:50億円、20年債:90億円(予定)
償還方法	満期一括償還
資金の用途	高速道路の建設資金及び長期借入金の借換資金
発行時期	令和3年2月19日(予定)
位置付け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
特徴	設立団体の債務保証(債券の元利金の支払いの保証)を得て発行します
格付け	設立団体の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
BISリスク・ウェイト	BIS規制上のリスク・ウェイトは、地方公共団体から債務保証を得るため、地方債と同様に0%です

平成19年度から、毎年度継続的に発行、その実績は以下の通り

発行実績	回号	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
	第4回	H23.2.28	110億円	10年	1.448%	100円	13bp
	第5回	H24.2.28	110億円	10年	1.032%	100円	8bp
	第6回	H25.2.28	100億円	10年	0.791%	100円	4.5bp
	第7回	H26.2.28	100億円	10年	0.694%	100円	9bp
	第8回	H27.2.28	90億円	10年	0.508%	100円	11bp
	第9回	H28.2.29	100億円	10年	0.230%	100円	19bp
	第10回	H29.2.28	60億円	10年	0.255%	100円	16.5bp
	第11回	H29.2.28	50億円	20年	0.763%	100円	6.5bp
	第12回	H30.2.22	80億円	10年	0.255%	100円	18bp
	第13回	H30.2.22	100億円	20年	0.625%	100円	4bp
	第14回	H31.2.21	100億円	10年	0.160%	100円	18bp
	第15回	H31.2.21	100億円	20年	0.472%	100円	5bp
	第16回	R1.12.16	60億円	10年	0.140%	100円	16.5bp
	第17回	R1.12.16	60億円	20年	0.335%	100円	5bp
	第18回	R2.2.25	50億円	10年	0.120%	100円	14.5bp
	第19回	R2.2.25	50億円	20年	0.320%	100円	5.0bp

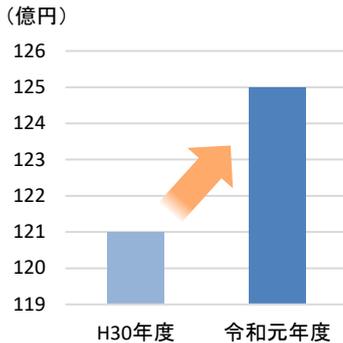
■ 広島高速道路公社の経営状況

通行台数と料金収入の推移

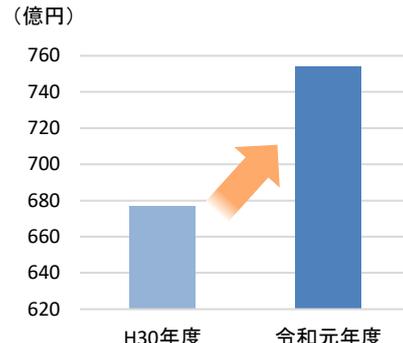


前年度との比較

料金収入



償還準備金等



償還率とは：営業中道路の投資済額に対する償還準備金の比率

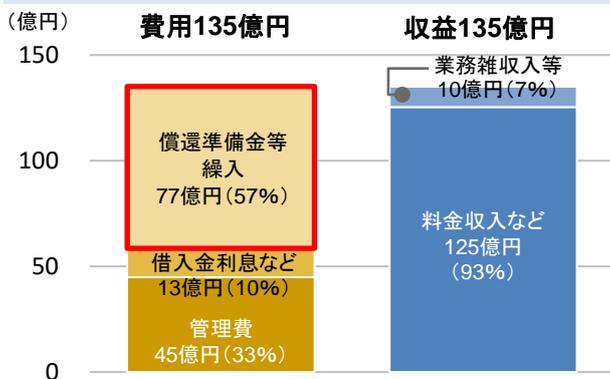
償還率	H30年度	R元年度	差
	22.3%	24.8%	+2.5pt

令和元年度の損益計算書

(単位：百万円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	R元年度	勘定科目	R元年度
事業資産管理費	4,126	業務収入	12,768
一般管理費	358	道路料金収入	12,486
業務外費用	1,368	ETCマイレージ還元負担金	51
特別損失	0	業務雑収入	231
小計	5,852	業務外収入	736
償還準備金等繰入	7,652		
合計	13,504	合計	13,504

令和元年度の営業中道路の収支状況



収益の状況

- 収益の総額は135億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入
- お客様からの道路料金収入は、交通量の増加により、前年度から4.1億円(3.4%)の増加

費用の状況

- 費用の総額は135億円で、主なものは、道路の維持補修や料金収受などに要した管理費45億、業務外費用(借入金利息など)13億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金等繰入77億円

令和元年度の貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	R元年度	勘定科目	R元年度
流動資産	14,353	流動負債	34,179
現金・預金外	14,353	1年内返済金外	34,179
固定資産	392,786	固定負債	212,373
事業資産	304,279	広島高速道路債券	121,000
道路建設仮勘定	87,784	地方公共団体借入金	42,227
有形固定資産外	723	政府借入金	44,085
繰延資産	340	市中銀行等借入金	4,773
借入金取扱諸費外	340	退職給与引当金	192
		ETCマイレージ引当金	32
		資産見返補助金	64
		償還準備金等	75,363
		基本金	85,430
		地方公共団体出資金	85,430
		余剰金	134
資産合計	407,479	負債・資本 合計	407,479

令和元年度末の償還状況



資産の状況

- 資産の総額4,075億円のうち、お客様にご利用いただいている営業中の道路資産は3,043億円で、資産全体の約75%を占める

負債及び資本の状況

- 負債及び資本の総額は4,075億円で、主なものは、道路債券を含む長期借入金2,121億円、元金返済に充てた償還準備金(償還準備積立金含む)754億円、設立団体の広島県・広島市からの基本金854億円
- なお、建設に要した借入金については、お客様からの料金収入で返済していくもの